

# 『巨大エコキャップアート』制作

11月3日(土)よりJR本竜野駅に展示



青年部だより

十月二十一日(日)、たつの市青年館において、公募で集まった四十二名の小学生と一緒に、高さ二m×幅八mの『巨大エコキャップアート』を製作しました。

これは、七月一日(日)より企業や市民、市内全十七小学校の皆様を集めていただいた約五十五万個(十月九日(火)までの仕分け済み)のペットボトルキャップの中から全十四色、一万八百十六個を使用したドットアートで、十一月三日(土)から十二月一日(土)まで、本竜野駅二階東側に展示します。

まず、私が「キャップをゴミ箱へ捨てる」と処分場で燃やされて地球温暖化の原因になるCO<sub>2</sub>を出すことになりません。再資源化すると、空気を汚さずプラスチック製品に生まれ変わるので一石二鳥です。また、ポリオ予防接種が受けられず、一日に約六千人もの命が失われています。回収いただいたキャップは、NPO法人を通じて約八百個で一人分のワクチンと交換してもらえ、目標の八十万個を達成できれば千人の命を救うことが可能なんです。地球環境や世界

の子供たちにいいことをしながら、本竜野駅が注目を集める大きなキャップアートを楽しんで作りましょう」と挨拶。

続いて、参加者の工作意欲を盛り上げようと、世界の平和と環境を守る超ヒーロー「エコレンジャー」が登場。アート作りを邪魔するため現れた悪者を倒し、「がんばって完成させよう」と呼びかけると、いよいよ製作開始です。十六班に分かれ、龍野北高等学校の生徒さんが描いた原画を見ながら、発泡スチロール製のキャップ(一m×一m)にキャップを一個一個はめ込んでいきました。「すごい簡単」「あれっ、一列間違えた」などの声が聞かれる中、エコレンジャーの応援もあって(?!?)五十分で全班的作業が終了。それらを合体させると突然、紅葉が美しい龍野を赤とんぼがうれしそうに飛び、姫新線が颯爽と走るハートフルな景色が目の前に広がりました。

班別作業時には想像がつかなかった完成後の全体像とその大きさ、そして美しい彩りに会場内から思



制作に夢中

わず感嘆の声が！今回はリサイクルできるよう一切着色しておらず、「文字だけのキャップが遠くからだとこんなきれいな色になるのか」というコメントも聞かれました。最後にキャップアートを囲み、全員で記念撮影。姫新線利用者を出迎え、見ると思わず笑顔になる巨大ウエルカムボードを、ぜひ見に来てください。

会長 金治 秀明

『巨大エコ  
キャップアート』展示

期間 十一月三日(土)

十一月一日(土)

場所 JR姫新線

本竜野駅二階通路東側